

第33回総合企画専門委員会及び第22回女性参画推進専門委員会における
いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン「復興推進プラン」（最終案）についての御意見

1 第33回総合企画専門委員会の開催概要

- (1) 日 時 令和5年2月8日（水）14：00～16：00
- (2) 会 場 エスポワールいわて 2階 大ホール
- (3) 出席者 委員7名（うちリモート参加1名）（別添名簿のとおり）
- (4) 議 事 いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン「復興推進プラン」について
- (5) 報 告
 - ア いわて県民計画（2019～2028）第1期アクションプラン「復興推進プラン」の進捗状況について
 - イ 令和5年度当初予算（案）におけるいわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン「復興推進プラン」の主な構成事業について
- (6) その他

2 第22回女性参画推進専門委員会の開催概要

- (1) 日 時 令和5年2月7日（火）14：00～15：30
- (2) 会 場 エスポワールいわて 2階 大ホール
- (3) 出席者 委員7名（うちリモート参加4名）（別添名簿のとおり）
- (4) 議 事 いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン「復興推進プラン」について
- (5) 報 告
 - ア いわて県民計画（2019～2028）第1期アクションプラン「復興推進プラン」の進捗状況について
 - イ 令和5年度当初予算（案）におけるいわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン「復興推進プラン」の主な構成事業について
- (6) その他

3 審議結果の概要（主な発言内容）

第33回総合企画専門委員会（令和5年2月8日（水）開催）

[広田委員]

- ・ 政策推進プランも含め「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランが人口減少対策に力を入れた意欲的なプランとなっていると評価しており、プランを推進していくための県の職員配置についても配慮があると、より良い計画となるのではないかと。
- ・ 「沿岸地域が一体となり」という表現が入ったことは評価するが、今後、沿岸市町村がより主体的に三陸全体の振興を考えていくことができるよう、市町村間の連携を進めるための取組やきっかけづくりの提供を県に期待する。

[平山委員]

- ・ 政策推進プランも含めた「いわて県民計画（2019～2028）」全体の説明があり、計画全体の中での復興推進プランの位置付けが再確認でき、安心した。
- ・ 水産業等における外国人労働者の受入れについては、県としての方針や考え方があるべきと考えている。
- ・ NPOには、苦しい時に県を支えていただいた能力が高い人が集まっているが、NPOの仕事が減っている現在、職員の身分の不安定化を危惧しており、岩手に来た人材が定着するような取組を進めて欲しい。

[谷藤委員]

- ・ 資料1-3（第2期復興推進プラン（最終案）本体）のP72の「①中小企業者の事業再開や経営力の強化、デジタル技術の活用等による生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進」に係る主な取組内容に「人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等の社会経済環境の変化」という表現があるが、次期アクションプランの期間では、インフレや金利の上昇が社会経済環境に大きな影響を与える要因となることを記載して欲しい。
- ・ 政策推進プランも含めた「いわて県民計画（2019～2028）」全体の話になるが、政策のマクロ調整という観点を持って欲しい。例えば、DXを推進すると業務が効率化されて雇用が減り、人口減少対策にとってはマイナスの影響が生じる場合もあるので、注意すべきである。

[南委員]

- ・ 復興の推進に当たっては、幸福追求権を掲げて取組を進めてきたところであり、幸福を理念とする「いわて県民計画（2019～2028）」の中に、復興が溶け込んでいく道筋がおぼろげながら見えてきたと感じている。復興の取組を踏まえて、明るい岩手県の未来をどう描けるか考えていく必要がある。

[菅野委員]

- ・ 沿岸市町村の人口増減率について記載があるが、日本全体の中で沿岸地域の減少の割合はどうなっているかなどを分かりやすく記載した方が良い。

[小野寺委員]

- ・ 復興推進プランの4本の柱は全て必要なものであるが、最近では**震災の風化を止めることがより重要**と感じており、資料1-3（第2期復興推進プラン（最終案）本体）のP16の復興情報発信に係る課題の記載として、**震災の風化や関心の低下を防ぐことが一番目にあるべき**と考える。

[齋藤委員長]

- ・ **沿岸市町村が一体となった三陸地域の振興**に向け、市町村の自主性を重んじるだけでなく、**連携を促進するための県のリーダーシップを期待**したい。日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への対応に係る県と市町村の取組が見本となるかもしれない。

第22回女性参画推進専門委員会（令和5年2月7日（火）開催）

[中里委員]

- ・ 女性参画の取組を進める上で、パワーハラスメントなどのハラスメントが起きないように、企業や団体がコンプライアンスを遵守できるような指標を盛り込むことはできないか（例えば、企業等の役員等が研修等により女性参画について理解を深める指標など）。

[山屋委員]

- ・ 被災地の子どもたちが成長し、様々な分野で活躍しているが、大人になった子どもたちが働き始め大人（親）の生活再建を支えている状況もあり、どちらも大変な状況となっている。被災地の子どもたちがどのように変化していったのか見ることができる「いわての子どもたちの復興の記録」のようなものがあると良いと思う。

[村松委員]

- ・ 被災した子どもを含め、現在、頑張っている人たちの姿を県内外に知ってもらう場を設けられたら良いと思う。
- ・ 復興推進プランの取組が、支援が必要な方にしっかりと届く仕組みが必要である。

[大沢委員]

- ・ 将来想定される巨大地震への対策について、市町村任せではなく県でも取り組んでいくということを分かりやすく記載して欲しい。

[菅原委員長]

- ・ 「I 安全の確保」の主な取組内容指標「3人以上の女性委員が参画する市町村防災会議の割合」について、前回の専門委員会での意見を踏まえ指標を設定したことを高く評価する。しかしながら、将来的にはより多くの女性委員の任用を目指すべきであり、現状を踏まえて、第2期復興推進プランでは、この指標で管理するが、将来的には更に女性委員の割合の増加に取り組んでいくということをプランに記載して欲しい。

岩手県東日本大震災津波復興委員会第33回総合企画専門委員会 委員名簿

氏名	職名等	出欠
齋藤 徳美	【委員長】 岩手大学 名誉教授	出席(会場)
高嶋 裕一	【副委員長】 岩手県立大学 総合政策学部長	欠席
小野寺 徳雄	株式会社昭和土木設計 技師長	出席(会場)
菅野 信弘	北里大学 海洋生命科学部長兼三陸臨海教育研究センター長	出席(会場)
谷藤 邦基	岩手県立大学地域政策研究センター 客員教授	出席(会場)
平山 健一	岩手大学 名誉教授	出席(会場)
広田 純一	岩手大学 名誉教授	出席(会場)
南 正昭	岩手大学理工学部 教授	リモート出席

出席(会場) 6名

リモート出席 1名

欠席 1名

岩手県東日本大震災津波復興委員会第22回女性参画推進専門委員会 委員名簿

氏名	職名等	出欠
菅原悦子	【委員長】 岩手大学 名誉教授	出席(会場)
盛合敏子	【副委員長】 岩手県漁協女性部連絡協議会 会長	欠席
植田敦代	特定非営利活動法人wiz 理事	欠席
大沢伸子	岩手県商工会女性部連合会 元副会長	リモート出席
神谷未生	一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長	リモート出席
高橋弘美	J A岩手県女性組織協議会 顧問	欠席
手塚さや香	岩手移住計画 代表	欠席
中里登紀子	一般社団法人岩手県歯科医師会 理事	リモート出席
平賀圭子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて 理事	欠席
藤澤美穂	岩手医科大学教養教育センター 講師	リモート出席
村松文代	株式会社IBC岩手放送 メディア放送本部報道局アナウンス部	出席(会場)
山屋理恵	認定特定非営利活動法人インクルいわて 理事長	出席(会場)
両川いずみ	認定特定非営利活動法人いわて子育てネット 副理事長兼事務局長	欠席

出席(会場) 3名
 リモート出席 4名
 欠席 6名